

平成25年度第2回文学館協議会次第

日時 平成26年2月27日（木）10時～

会場 県立文学館 研修室

開会

- 1 学術文化財課長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 館長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 平成25年度事業実績について
 - (2) 平成26年度事業計画について
 - (3) その他

閉会

館内視察

山梨県文学館協議会資料

平成26年2月27日(木)

山梨県立文学館

目 次

ページ

<u>山梨県文学館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県立文学館活動報告(概要)</u>	2
<u>施設利用状況</u>	3
<u>観覧者数の推移</u>	5
<u>企画展等一覧</u>	9
<u>教育普及事業について</u>	11
<u>資料情報課事業一覧</u>	17
<u>指定管理者活動報告</u>	23

山梨県文学館協議会名簿

任期:平成25年9月29日～平成27年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	早川 公仁	県市町村教育委員会連 合会代表	社会教育関係 (笛吹市教育委員長)
〃	高野 美智子	県社会教育委員代表	社会教育関係(山梨県社会教育委員、 (一社)国際女性教育振興会 山梨県支 部長))
〃	蔦木 雅清	山梨文芸協会委員	学識経験者(山梨文芸協会事務局次長)
〃	向山 文人	報道関係	学識経験者(山梨日日新聞社論説委員 長)
〃	植松 裕二	報道関係	学識経験者(テレビ山梨放送本部・報道 制作局長)
〃	鈴木 弘亮	報道関係	学識経験者(NHK甲府放送局副局長)
〃	池田 尚隆	山梨大学教授	学識経験者
〃	小菅 健一	山梨英和大学教授	学識経験者
〃	数野 強	元山梨県教育長	学識経験者
〃	赤坂 治績	公募委員	学識経験者
〃	上野 美穂子	公募委員	家庭教育関係者
〃	清水 章子	公募委員	家庭教育関係者
〃	乙黒 幸江	前中央市立玉穂生涯学 習館館長	家庭教育関係者
任命	福嶋 尚美	県公立小中学校長会代 表	学校教育関係(大月市立大月第一中学 校長)
〃	中込 富夫	県高等学校長協会代表	学校教育関係(塩山高等学校長)

本館に求められるもの

県民の価値感の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対する質の向上やニーズも一段と高く、幅広いものとなってきている。このような中、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県における文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報／収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品（資料）を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力／たのしみ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

- 平成25年度は、山梨県立文学館のあるべき姿や求められる姿を考究すべく制定された「基本理念」（平成25年4月1日制定）を自覚し実践するとともに、本県を会場に全国初の通年開催される「国民文化祭」とも連動させ、さらに魅力ある展示を実施、解説に力を入れるなど積極的な情報発信を行っていく。

平成25年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年四回春夏秋冬展示替えに加え、次の資料を期間限定公開また夏と冬は特別コーナーを設置

①長塚節 三井甲之宛書簡 ②二葉亭四迷 内田魯庵宛書簡 ③窪田空穂短歌軸装 ④足立源一郎油彩・スケッチ画
・夏の常設展 村岡花子生誕120年の展示
・冬の常設展 深沢七郎 生誕100年

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学） 樋口一葉（朗読コーナー）

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介 生涯（誕生・少年期・文壇登場・苦悩と死）・書画・俳句・山梨との関わり
朗読コーナー

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 生涯と作品

第5室 前期(9月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡
後期(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈富士の国やまなし国文祭記念事業〉 特設展「富士山と文学」4月～7月

〈夏休み展示〉 特設展「あそぶぜ！かいけつゾロリのおたのしみ大きくせん～原ゆたかとゾロリのなかまたち」7月～8月

〈秋の企画展〉〈富士の国やまなし国文祭記念事業〉「与謝野晶子展 われも黄金の釘一つ打つ」9～11月

〈新収蔵品展〉1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

- 入門のための文学創作教室〈7月 講演会・12月 エッセイ教室（高校生）・2月 エッセイ教室（一般）〉

〈活動内容〉

春の特設展、秋の企画展関連講演会・講座・教師のための学習会・朗読公演会・朗読公演会・文学散歩（一般）2回、文学散歩（高校生）1回、子ども映画会・ワークショップ 年間文学講座 名作映画鑑賞会 読書会（協力会）お話の森朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ 文学解説 各種講師派遣事業 移動文学館 リーディングシアター2013 in 文学館

〈第22回やまなし文学賞〉小説と研究評論2部門で実施 11月末締め切り 平成26年2月27日発表

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供

- 閲覧室資料紹介・富士をめぐる文学・ぼくのヒーローわたしのヒーロー・与謝野晶子の世界・本のたのしみ

- 文学者の誕生日にちなんだ資料紹介・飯田蛇笏・樋口一葉・太宰治・飯田龍太・辻邦生・山崎方代・芥川龍之介

- 書庫見学 6/15（土）：27人 11/20（水・県民の日）：67人 午前・午後各1回

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

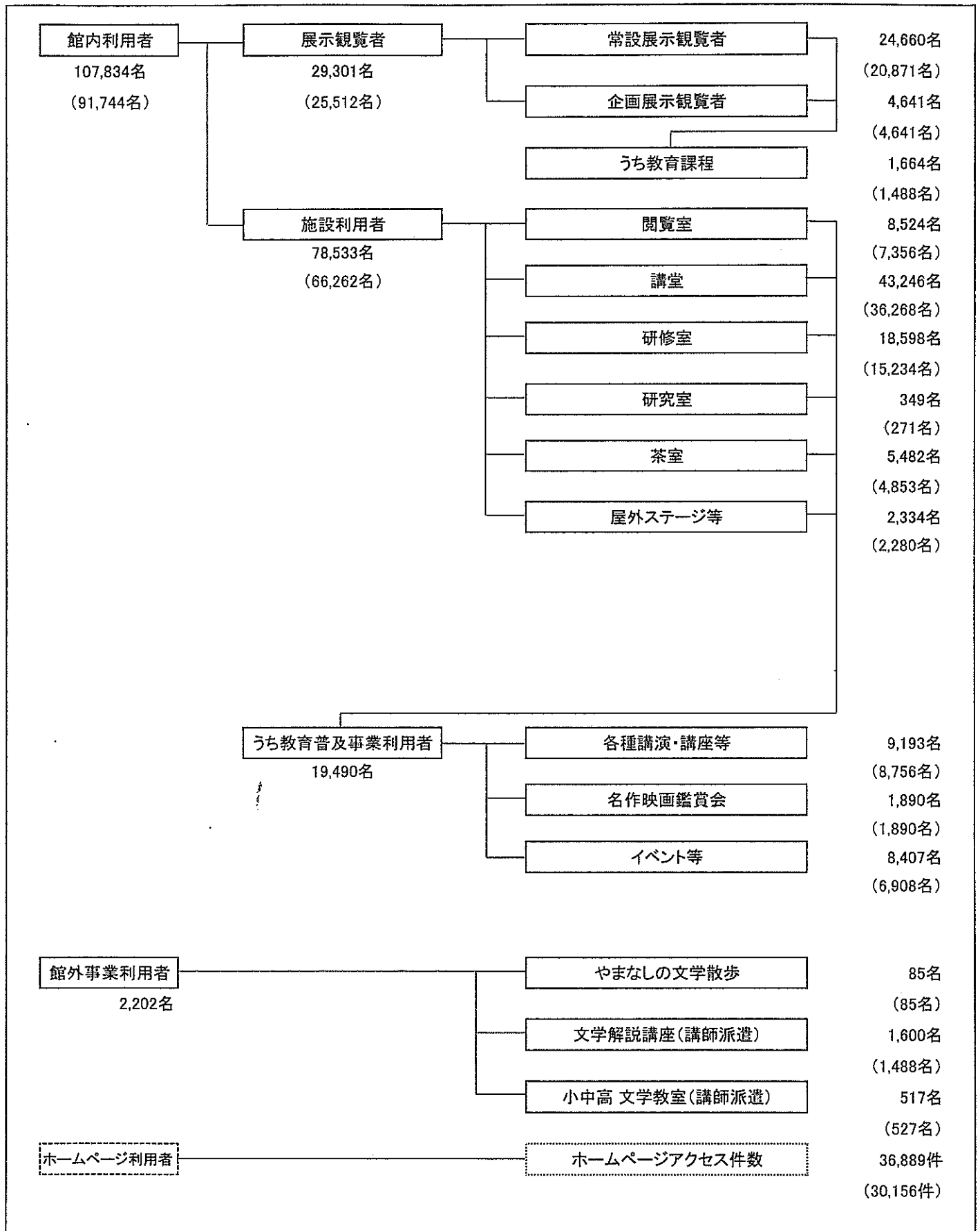
協力会員による企画展・常設展の解説ボランティアの育成と実施

芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐 in（会員）募集事業

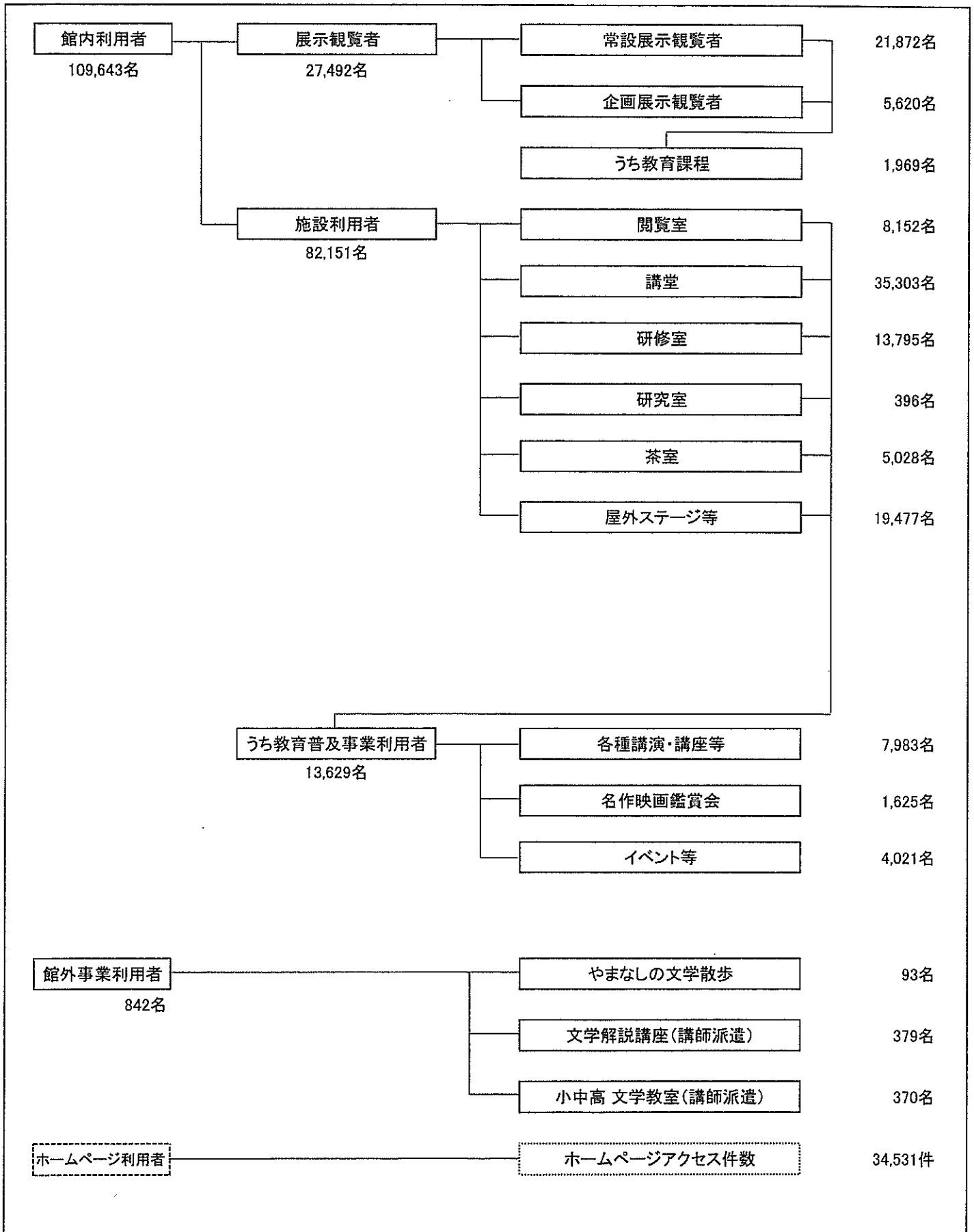
JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

文学館における「利用者」の状況

平成24年度実績。()は1月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。



文学館の観覧者数の推移

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	264	21,872	5,620	27,492
計	6,854	672,799	335,909	1,008,708

平成25年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,225	47
5	27	2,152	80
6	26	1,522	59
7	26	3,101	119
8	28	6,773	242
9	25	1,484	59
10	28	1,840	66
11	28	2,881	103
12	24	420	18
1	26	474	18
2			
3			
計	264	21,872	83

平成24年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,602	62
5	27	2,373	88
6	27	1,825	68
7	27	1,714	63
8	28	4,119	147
9	26	1,629	63
10	27	2,851	106
11	28	3,577	128
12	18	506	28
1	26	675	26
2	24	1,891	79
3	27	1,898	70
計	311	24,660	79

特設展観覧者数

年度	名 称	会 期	日数	観覧者数
H2	山梨と高浜虚子	H2.10.13~H2.11.18	33	8,785
H3	辻嵐外と嵐外十哲	H3.4.27~H3.6.2	33	8,996
	たけくらべの世界	H3.7.16~H3.8.25	36	10,378
	映画と文学	H3.10.22~H3.12.1	36	9,814
	文学者の扇面と年賀状子規がいて、漱石がいて、さうして…	H4.1.8~H4.2.2	22	2,327
H4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	H4.4.8~H4.6.2	48	12,152
	佐野四郎の世界—富士見ゆる丘より	H4.6.3~H4.8.4	54	6,650
H5	やまなしの自然と文学	H5.6.19~H5.8.22	56	6,973
	五味可都里と蟹守の周辺	H5.8.24~H5.10.24	53	8,648
	芥川龍之介 草稿の世界	H5.10.30~H6.1.30	66	8,876
	野尻抱影 書簡の世界	H6.2.5~H6.4.10	51	5,519
H6	歌人の手紙	H7.3.4~H7.4.16	33	4,220
H7	やまなし文学賞の受賞者たち	H7.7.29~H7.9.17	44	3,756
	中村星湖への手紙	H7.12.2~H8.2.18	56	3,324
H8	『豹・レオパール』の詩人たち—宮田桐夫資料より—	H8.6.11~H8.7.7	24	1,861
	蛇笏山脈の人—西島麦南・松村蒼石・榎本虎山—	H8.11.27~H9.2.16	57	3,629
H9	芥川龍之介の草稿	H9.7.19~H9.9.15	55	5,932
	村松定孝氏収集	H10.1.8~H10.2.15	32	1,274
H10	児童文学—山梨ゆかりの作家群—	H10.7.18~H10.9.13	50	3,778
	鳴山草平資料	H11.1.23~H11.2.21	23	757
H11	山岳関連名著展—百瀬舜太郎コレクションより—	H11.7.13~H11.8.29	41	4,202
H12	脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎	H12.7.18~H12.8.27	34	2,019
	山梨の文芸誌—大正から昭和初期	H13.1.2~H13.2.18	42	1,068
H13	やまなしの児童文芸—「赤い鳥」「金の船」「金の星」「童話」を中心に—	H13.7.17~H13.9.2	41	2,086
	山梨の文芸誌—戦後から現代まで—	H14.1.2~H14.2.17	41	1,121
H14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	H14.6.18~H14.9.1	66	4,013
H15	山梨の農民文学	H15.7.19~H15.8.31	38	1,947
H16	山崎方代 歌と書の世界	H16.4.29~H16.5.30	27	2,862
H17	山梨のアララギ派歌人展「伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心にして」	H17.7.23~H17.8.31	34	1,393
H18	「赤毛のアン」の世界へ	H18.7.22~H18.8.27	33	4,138
H19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	H19.7.21~H19.8.26	33	4,100
H20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	H20.7.19~H20.8.24	32	2,909
H21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」—青い瞳の涙—	H21.7.18~H21.8.23	30	3,027
	収蔵名品展（常設展示室リニューアル工事中で常設展観覧料で観覧）	H21.12.2~H22.2.28	44	3,007
H22	くじらぐもからチックタックまで—国語教科書にのったお話し原画展—	H22.7.25~H22.8.29	31	10,495
H23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	H23.7.23~H23.8.28	35	2,686
	樋口一葉 山梨への手紙	H23.11.19~H23.12.25	32	2,127
H24	フランダースの犬	H24.7.21~H24.8.26	33	5,034
	飯田蛇笏展	H24.9.29~H24.11.25	53	6,553
	文学館至宝展（富士の国やまなし国文祭共催事業）	H25.1.14~H25.3.17	54	3,490
H25	富士山と文学	H25.4.27~H25.7.7	63	4,549
	かいけつゾロリ展	H25.7.20~H25.8.25	33	8,621

199,096

収蔵品展観覧者数

年度	名 称	会 期	日数	観覧者数
H4	新収蔵品展	H5.3.2~H5.3.24	20	2,831
H6	新収蔵品展	H6.7.23~H6.9.18	49	6,954
H7	新収蔵品展	H8.3.2~H8.3.17	15	1,059
H8	収蔵品展	H9.3.16~H9.4.13	24	2,865
H9	収蔵品展	H10.3.7~H10.4.12	32	12,432
H10	収蔵品展	H11.3.2~H11.3.22	19	870
H11	収蔵品展	H12.3.7~H12.4.2	24	1,093
H12	収蔵品展	H13.3.6~H13.4.1	23	1,044
H13	収蔵品展	H14.3.5~H14.3.31	23	859
H14	収蔵品展	H15.1.2~H15.3.30	75	2,879
H15	収蔵品展	H16.1.2~H16.3.28	74	10,980
H16	収蔵品展	H17.1.2~H17.3.27	72	2,369
H17	収蔵品展	H18.1.17~H17.3.26	60	2,273
H18	収蔵品展	H19.1.16~H19.3.25	60	1,834
H19	収蔵品展	H20.1.22~H20.3.30	60	2,667
H20	収蔵品展	H21.1.20~H21.3.29	59	2,313
H21	収蔵名品展(特設展示として)	H21.12.2~H22.2.28		
H22	収蔵品展	H23.1.19~H23.3.27	59	2,958
H23	収蔵品展	H24.2.2~H24.3.21	43	2,403
H25	新収蔵品展	H26.1.25~H26.3.23	50	274

H25新収蔵品展は、26年1月末までの数字

60,957

両展合計

260,053

平成25年度 山梨県立文学館企画展・特設展実績

展覧会名	会期	展示内容	観覧者数
富士の国やまなし国文祭記念事業 特設展 「富士山と文学」	平成25年 4月27日(土) ~ 7月7日(日)	古くから日本人があこがれと畏敬の念を抱いてきた富士山。 万葉集のうたや太宰治の「富嶽百景」、草野心平の詩など、文学に描かれた様々な富士山を紹介します。 * 常設展の一環として開催	4,549人
特設展 「あそぶぜ！ かいけつゾロリのおたのしみ大さくせん ~原ゆたかとゾロリのなかまたち」	平成25年 7月20日(土) ~ 8月25日(日)	原ゆたかの児童書「かいけつゾロリ」は、1987年にポプラ社から発刊されて以来、子どもたちに大人気のシリーズです。 ゾロリの楽しい世界と作者原ゆたかを紹介し、夏休み期間中に子どもたちに本に親しみ、楽しんでもらう展覧会です。 * 常設展の一環として開催	8,621人
富士の国やまなし国文祭記念事業 企画展 「与謝野晶子展 われも黄金の釘一つ打つ」	平成25年 9月28日(土) ~ 11月24日(日)	明治・大正・昭和を生きた情熱の歌人と謝野晶子(1878~1942)。 晶子は山梨とのゆかりも深く、夫の寛と共に上野原市や富士川町を訪れ、地元の人々と交流し、多くの歌を詠んでいます。 山梨での足跡とともに、短歌・評論・社会運動と、様々な分野に業績を残した晶子の華麗な生涯をたどります。	5,620人
新収藏品展 手書きの魅力 飯田蛇笏・足立源一郎・田中冬二・山本周五郎・深沢七郎ほか	平成26年 1月25日(土) ~ 3月23日(日)	平成25年度に新たに収蔵した資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介します。 * 観覧料無料	開催中

平成26年度 山梨県立文学館企画展・特設展予定

名 称	会期	展示内容
企画展 「村岡花子展 ことばの虹を架ける ～山梨からアンの世界へ～」	平成26年 4月12日(土) ～ 6月29日(日)	山梨県甲府市に生まれた村岡花子(1893～1968)は、こどもたち・少女たちのため、夢に溢れる童話や翻訳小説を世に送り出しました。代表作「赤毛のアン」シリーズは、刊行から60年以上を経た今日もなお、多くの読者に愛されています。一方、佐佐木信綱の門下で短歌を学び、生涯を通じて、折々の思いを詠んだ数々の歌を残しています。村岡花子への関心が高まっている今、波瀾にみちた生涯とその文学の原点をさぐります。 * 自主企画 企画展
特設展 「本のよそおい」(仮称)	平成26年 7月19日(土) ～ 8月24日(日)	電子書籍で読書を楽しむ人が増える一方、美しく装幀された本や雑誌が改めて注目を浴びています。夏目漱石『吾輩ハ猫デアル』、泉鏡花『遊里集』、深沢七郎『檜山節考』など、個性豊かに装飾された名著の数々を紹介します。 * 常設展の一環として開催
企画展 「谷崎潤一郎展」(仮称)	平成26年 9月27日(土) ～ 11月24日(月・振替休日)	明治・大正・昭和にわたり小説を書き続け、「痴人の愛」「春琴抄」「細雪」など現代に読み継がれる名作を残した谷崎潤一郎(1886～1965)。本展では谷崎潤一郎の生涯と豊饒な作品世界に迫り、時代に残した足跡をたどります。 * 自主企画・企画展
新収蔵品展	平成27年 1月24日(土) ～ 3月22日(日)	平成26年度に新たに収蔵した資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介します。 * 観覧料無料

【平成25年度 教育事業について】平成25年2月21日現在

1. 企画展開連事業

(1) 特設展 「富士山と文学」

特設展開連事業

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
5 / 30 (木)	文学講座	「富士山を詠った詩歌」	高室有子 (当館学芸員)	96人
6 / 2 (日)	講演会	「文藝よもやまばなし」	講 師 近藤信行 (前 文学館館長)	130人
6 / 6 (木)	教師のための学習会		高室有子 (当館学芸員)	25人

2. 特設展開連事業

(2) 夏の特設展 平成25年7月20日(土)～8月25日(日)

「かいけつゾロリのおたのしみ大きくせん～原ゆたかとゾロリのなかまたち」

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
7 / 20 (土)	ゾロリのお絵かき会		原ゆたか	130人
7 / 20 (土)	原ゆたか・原京子サイン会		原ゆたか、原京子	150人
7 / 21 (日)	ゾロリのお絵かき会		原ゆたか	150人
7 / 21 (日)	原ゆたか・原京子サイン会		原ゆたか、原京子	150人
8 / 11 (日)	原ゆたか・原京子サイン会		原ゆたか、原京子	300人

(3) 企画展 平成25年9月28日(土)～11月24日(日)

「与謝野晶子展～われも黄金の釘一つ打つ～」

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
9 / 28 (土)	講演会	「与謝野晶子という生き方」	林真理子	500人
10 / 10 (木)	教師のための学習会		保坂雅子 (当館学芸員)	15人
10 / 24 (木)	文学講座		保坂雅子 (当館学芸員)	95人

11/4 (月)	講演会「「自立」を問う人—与謝野晶子の評論を読む」	金井景子（日本文学研究者）	380人
11/14 (木)	講演会「星君なりき—晶子晩年の魅力」	三枝昂之（当館館長）	115人
11/23 (土)	講演会「あらためて読む『みだれ髪』」	今野寿美（歌人）	115人

3. 教育普及事業（企画展・特設展を除く）

(1) 年間文学講座

期 間	事業名 演題	講師（職名）	参加者数
5/23 6/13 7/18 8/22 9/19 10/17 11/21 12/19	文学講座1（全8回）講堂 テーマ「源氏物語の女君たち」 木曜日 14:00～15:30	池田尚隆 （山梨大学 教育人間科学部教授）	1148人
5/11 6/8 7/6 8/3 9/7 10/19 11/16 12/14	文学講座2（全8回）研修室 テーマ「今、「村上春樹」を読むということ—初期作品群群読—」 土曜日 14:00～15:30	小菅健一 （山梨英和大学教授）	890人
5/30 6/27 9/12 10/24	文学講座3（全4回）研修室 山梨の文学 木曜日 14:00～15:10	文学館職員	356人

(2) 名作映画鑑賞会

月 日	題 名	原 作 者	参加者数
5/26 (日)	「東海道四谷怪談」	原作 鶴屋南北 監督 中川信夫	140人
6/30 (日)	「静かなる決闘」	監督 黒澤明 出演 三船敏郎	260人
7/28 (日)	アニメ「サイボーグ009」	原作 石ノ森章太郎 声の出演 太田博之	100人
8/24 (土)	アニメ「かいけつゾロリ だ・だ・だ・大ぼうけん！」	原作 原ゆたか 声の出演 山寺宏一	515人
9/29 (日)	「ビルマの豎琴」	原作 竹山道夫 監督 市川崑	260人
10/27 (日)	「宗方姉妹」	原作 大佛次郎 監督 小津安二郎	150人
11/24 (日)	「おふくろ」	原作 田中千禾夫 監督 久松静児	200人

(3) 朗読公演会

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
6/1 (土)	お話の森朗読会①		溝口朗読サークル	90人
8/8 (土)	お話の森朗読会②		橡の会	100人
11/23 (日)	朗読公演会「ピノッキオ」		こんにやく座	380人

(4) 文学創作教室

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
7/7 (日)	小節教室「読むことは書くこと、書くことは読むこと」		堀江敏幸（早稲田大学教授・作家）	120人
12/18 (水)	高校生向け創作教室 エッセイ教室「エッセイはいかに書くか」		水木 亮（作家）	48人
2/8 (土)	一般向け創作教室 エッセイ教室 「あなたも魅力的なエッセイを書こう」		水木 亮（作家）	24人

(5) 子どもワークショップ

月 日	事業名	講 師	参加者数
7/6 (土)	国文祭ウエルカムイベント ・活字ホルダーでゾロリの名刺作り ・ゾロリのエコバックを作ろう		95人
7/15 (月)	夏休みプロジェクト ・活字ホルダーでゾロリの名刺を作ろう ・ゾロリのエコバックをつくろう		115人
7/31 (水)	「活版印刷体験！ゾロリのポストカードとマイノートを作ろう」	印刷博物館	109人
8/21 (水)	佐藤文香さんとあそぶ夏休み 俳句シャワーでバビル星人をたおせ！	佐藤文香（俳人）	25人
9/14 (土)	歌舞伎ワークショップ	市川喜昇・市川喜猿	60人
12/8 (日)	クリスマス会	ステファノ・ヴィエロ	64人
1/5 (土)	百人一首教室	清水章子 (竜王かるた会会長)	42人

(6) 学習ガイド 県出身又はゆかりの文学者、作品についての学習資料集を作成し、小・中・高等学校、各市町村立図書館等に配付したり、文学教室で活用する。学習ガイドの増刷、楽しみながら展示を理解できるように、ワークシートや展示クイズを作成し活用する。

(7) ジュニアインターンシップ（職場体験学習）・学芸員実習

7/28～31 中央高校 3人
8/17～22 山梨大学 1人
山梨県立大学 2人
8/17～18 城南中学校 3人
7/9～7/14 学芸員実習 5人

(8) 文学教室・解説

小学校 4校 (200人)
中学校 17校 (358人)
高等学校 1校 (124人)
大学校 0校
一般 9団体

(9) 講師派遣事業

小学校 4校 (200人)
中学校 3校 (887人)
高等学校 2校 (952人)
一般 4団 (一般150人)

(10) 石川啄木パネル貸し出し

小中高校 37校 (7098人)

(11) 各種団体への普及活動

5/2 甲府支部校長会 (30人)
5/7 高校校長会 (70人)
5/15 峡南地区校長会 (45人)
5/16 東山梨支部校長会 (35人)
5/23 北巨摩支部校長会 (30人)
6/11 笛吹支部校長会 (21人)
6/13 中巨摩支部校長会 (55人)
6/27 甲府地区学校司書部会 (42人)

4. やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門 : 坂上 弘 津島佑子 佐伯一麦
評論部門 : 菅野昭正 高田 衛 十川信介
応募総数 小説部門 265編
研究・評論部門 118編 (自薦 21編・他薦 97編)

26年2月12日 研究評論部門選考会 20日 小説部門選考会
3月13日 表彰式
6月 小説部門受賞作単行本刊行

5. リーディングシアター2013 in 文学館

新しい教育課程全面実施の中で現在各学校が教科を超えて取り組む『言語活動の充実』の一助として、小中学校の日頃の学習の成果の発表の場を作り、児童生徒の学習の目的意識や相手意識の構築をサポートすることを目的とする。

児童生徒がお互いの発表を聴き合い、また、大人の方にも聴いてもらう交流の場をつくり、朗読の楽しさを味わい、更に読書への興味・関心・意欲を育てることにねらいとして企画する。

日時 : 平成25年12月15日(日) 1:30~
会場 : 文学館講堂
内容 : 小中学生の朗読発表・高校生の朗読発表
参加者 : 10校(85人)

6. その他

文学散歩(委託事業)

企画実施 やまなし観光推進機構

委託先 NPO法人「つなぐ」

紅葉の河口湖畔文学散歩

平成25年10月20日(日)・26日(土)参加者 計93人

平成26年度実施予定教育普及事業の概要

事業名	事業説明
年間文学講座	年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう調整する。多くの方が参加できるように、平日のみならず、土・日も開講する。
山梨の文学講座	「山梨の文学講座」は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの文学と人についての講座を実施し、当館学芸員が講師を務める。
名作映画鑑賞会	有名な文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて、多くの県民とともに考える企画。平成2年から毎年実施。
朗読鑑賞会	県内外から講師を招聘し、文学作品(詩・小説など)の魅力を朗読によって鑑賞する企画。開館の年から実施し、毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。
山梨文学散歩	16年度から実施している。実行委員会とNPOとの協働事業とし、県内の文学ゆかりの地を訪ねる。コースにあたる市町村の協力を得て開催する。
山梨の文学解説講座	学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者の人と作品を紹介する講座。要望に応じ当館の研修室・講堂等あるいは市町村等に出向いて講義をする。
博学連携事業	将来の山梨を担うことになる子どもたちに、優れた文学と文学者の存在に気付かせるきっかけを作ることを目的に、学校教育と連携し、事業を実施する。具体的には、文学館作成の指導資料を学校に貸し出す「アウトリーチ」、「出前授業」、「リーディングシアター」、校外学習へのサポート、高校生を対象とした「文学創作教室」「文学散歩」等を実施している。
就業体験(インターンシップ)	子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが、今日的課題となっている。文学館としても、中学生・高校生・大学生の職場見学やインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。
教師のための学習会開催	県内の小・中・高校・特別支援学校の教師を対象に春と秋の企画展・特設展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、学校教育への活用を図る。
子どもワークショップ	子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じてもらう機会とする。各界で活躍する専門家を招くことで、子どもたちの多彩な分野での興味を広げていく。

平成25年度 閲覧室事業

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
<p>富士をめぐる文学 富士山は日本の象徴として世界にも広く知られ、魅了された人々は様々な形で富士を描いた。特設展「富士山と文学展」にあわせ、富士に魅せられた文学者の作品の数々を紹介する。</p>	平成 25 年 4 月 27 日 (土) ~ 7 月 7 日 (日)
<p>ぼくのヒーローわたしのヒーロー 時代を越えて、多くの人々に親しまれてきた名作の中のヒーローたち。魅力的な主人公が活躍する物語は、私たちの胸をわくわくさせる。児童文学作品など、登場するヒーローたちを紹介する。</p>	平成 25 年 7 月 20 日 (土) ~ 8 月 25 日 (日)
<p>与謝野晶子の世界 与謝野晶子は、歌人、古典文学研究者、教育者、そして女性の自立の推進者として活躍し、山梨にもたびたび足を運んだ。秋の企画展「与謝野晶子展」にあわせ、歿後 70 年を経た晶子の、新たな魅力をさぐる。</p>	平成 25 年 9 月 27 日 (金) ~ 11 月 24 日 (日)
<p>本のたのしみー装幀と挿絵 表紙や扉の絵、タイトルの文字、カバーや箱など、1冊の本には、様々な意匠が施される。著名な画家や思いがけない作家が手掛けたものなど、作品とともに見る人を魅了する装幀の数々を紹介する。</p>	平成 26 年 2 月 1 日 (土) ~ 4 月 6 日 (日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
飯田蛇笏（4／26生）	平成25年4月12日（金）～4月30日（火）
樋口一葉（新暦5／2生）	平成25年5月2日（木）～5月23日（木）
太宰治（6／19生）	平成25年6月5日（水）～6月26日（水）
飯田龍太（7／10生）	平成25年7月3日（水）～7月24日（水）
辻邦生（9／24生）	平成25年9月6日（金）～9月27日（金）
山崎方代（11／1生）	平成25年10月30日（水）～11月20日（水）
芥川龍之介（3／1生）	平成26年2月19日（水）～3月12日（水）

その他、講座、講演会等開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行っている。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成25年 6月15日（土） 参加者 27名

第2回 同 11月20日（水） 県民の日 参加者 67名

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

(H26.1.31現在)

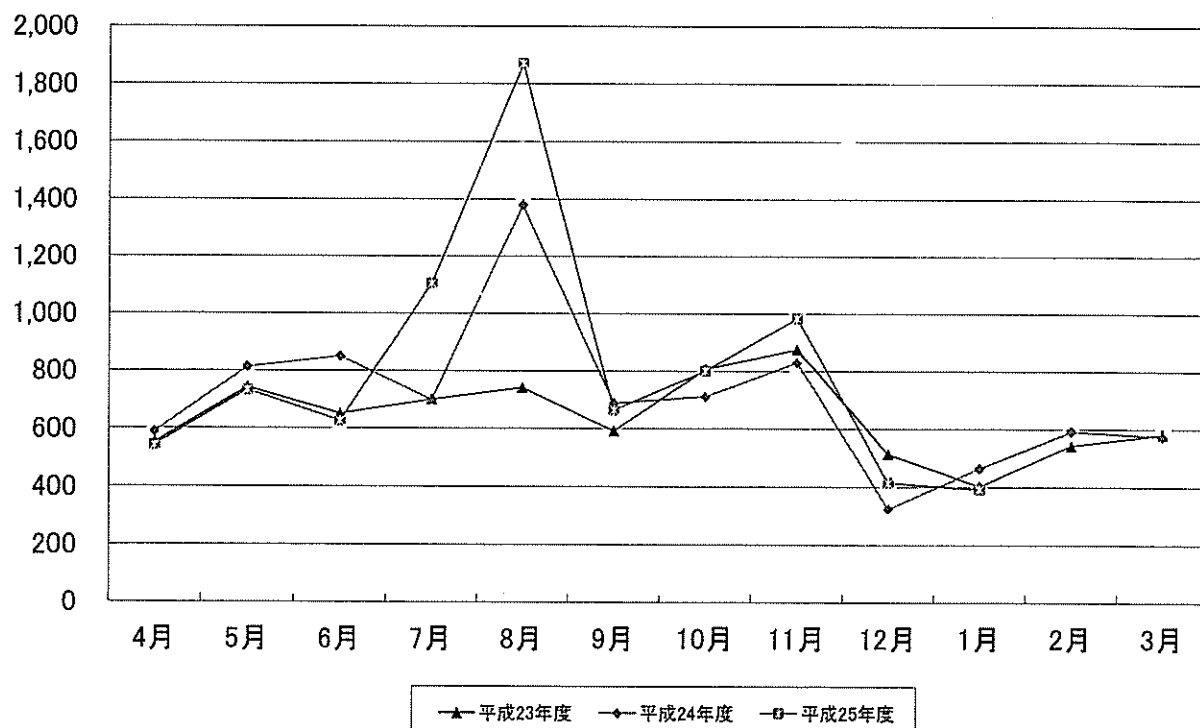
	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数	HPアクセス件数
平成23年度	310	7,712	99	414	2,511	361	7,001	258	890	636	35,346
平成24年度	310	8,524	105	415	2,149	285	5,211	283	823	544	36,889
平成25年度	258	8,142	81	353	2,346	242	7,201	44	1,887	705	34,531

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (H26.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
平成23年度	552	743	652	701	742	593	808	876	514	404	544	583	7,712	25
平成24年度	589	814	851	700	1,379	689	712	831	326	465	593	575	8,524	27
平成25年度	543	734	627	1,106	1,872	665	802	985	415	393			8,142	32

閲覧室入室者数月別集計グラフ



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (H26.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成23年度	37	38	26	27	37	28	40	45	21	12	26	24	361	1.2
平成24年度	15	26	33	28	38	22	31	30	10	15	14	23	285	0.9
平成25年度	19	32	37	20	25	26	21	34	12	16			242	0.9

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (H26.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成23年度	353	1,015	742	181	747	462	523	989	1,244	169	374	460	7,259	23
平成24年度	951	343	408	407	526	351	705	557	229	227	392	398	5,494	18
平成25年度	1,159	377	700	482	678	379	1,114	1,071	525	760			7,245	28

ホームページアクセス件数(月別)

単位:件 (H26.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均アクセス件数
平成23年度	2,736	2,929	2,797	3,038	3,399	3,056	3,445	3,001	1,986	2,484	3,425	3,050	35,346	97
平成24年度	2,938	3,240	3,048	3,057	3,230	2,904	3,383	3,566	1,995	2,795	3,797	2,936	36,889	101
平成25年度	2,774	3,088	3,661	4,628	5,172	3,157	3,756	3,231	2,344	2,720			34,531	113

平成26年度 閲覧室事業計画(案)

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
<p>村岡花子と赤毛のアン 甲府市で生まれた翻訳家、児童文学作家の村岡花子。その著書、翻訳書、生涯に関する資料や、花子によって初めて翻訳され、今も読み継がれる「赤毛のアン」の世界を紹介する。</p>	<p>平成 26 年 4 月 11 日 (金) ～ 6 月 29 日 (日)</p>
<p>名作童話館 子どもへの愛情や夢あふれる絵本、美しい挿絵の名作童話。夏の特設展「装幀展」の開催にあわせて、芥川龍之介、宮沢賢治、井伏鱒二などの作品を絵本や童話で紹介する。</p>	<p>平成 26 年 7 月 19 日 (土) ～ 8 月 24 日 (日)</p>
<p>谷崎潤一郎の世界 谷崎潤一郎は「痴人の愛」「春琴抄」、山梨ともゆかりのある「細雪」などの名作を残した。秋の企画展「谷崎潤一郎展」にあわせ、著書、関連資料を紹介する。</p>	<p>平成 26 年 9 月 26 日 (金) ～ 11 月 24 日 (月)</p>
<p>美味礼賛—作家の食卓— 無類の鰻好きの斎藤茂吉、永井荷風のショコラ・コーヒー・紅茶、幸田文の台所など、「食」にこだわった作家は多い。魅力的な「食」にまつわる文学作品の数々を紹介する</p>	<p>平成 27 年 2 月 20 日 (金) ～ 4 月 13 日 (日)</p>

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
飯田龍太（7／10生まれ）	平成26年7月3日（木）～7月24日（木）
辻邦生（9／24生まれ）	平成26年9月6日（木）～10月2日（木）
山崎方代（11／1生まれ）	平成26年10月30日（木）～11月20日（木）
檀一雄（2／3生まれ）	平成27年1月24日（土）～2月12日（木）
井伏鱒二（2／15生まれ）	平成27年2月14日（土）～3月7日（木）

◇美術館特別展関連資料紹介

県立美術館特別展の開催にあわせ、関連資料を紹介する。美術館から文学館への誘客を図り、展示内容への理解・関心を深める機会とする。

展 示 名	展 示 期 間
近代文学とミレー	平成26年7月18日（金）～8月31日（日）

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成26年 6月14日（土）

第2回 同 11月20日（木） 県民の日

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

指定管理者活動トピックス 【1-1】賑わいの創出

無料シャトルバスの運行

秋の行楽シーズンの集客を目的に、無料シャトルバスを運行。地元企業の山梨交通の協力のもと、両館の展覧会日程にあわせ、9月から11月にかけての日曜日を中心に運行。様々な媒体で事前に告知したこともあり、前年を大きく上回る利用者を獲得できた。



平成25年度 甲府駅～山梨県立美術館シャトルバス 乗車実績

	甲府発		美術館発		日合計	
	計	24年度	計	24年度	25年度	24年度
9月8日	30		65		95	
9月15日	30		58		88	
9月22日	88		101		189	
9月29日	19	45	41	85	60	130
10月6日	50	34	88	68	138	102
10月13日	40	56	81	64	121	120
10月20日	16	45	60	53	76	98
10月27日	56	19	87	52	143	71
11月3日	67	36	99	61	166	97
11月10日	37	44	76	116	113	160
11月17日	89	62	125	94	214	156
11月20日	104	78	148	127	252	205
11月24日	46	74	86	120	132	194
計	672	493	1115	840	1787	1333

1

指定管理者活動トピックス 【1-2】賑わいの創出

アートツアー

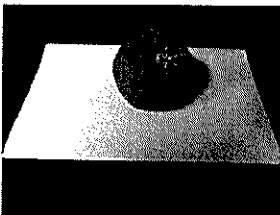
ガイドスタッフを3名から6名に増員し、個別予約や団体予約にも柔軟に対応。リピーターも出てくるなど、公園の魅力の一つとして認知度も向上



10月152名、11月176名
合計328名の参加者を獲得

展覧会関連事業

企画展「与謝野晶子展」の関連事業として、「呈茶」と「琴の演奏会」を組み合わせたコラボレーションイベントを実施



お茶と一緒に提供する茶菓子は、与謝野晶子の別号「白萩」にちなみ製作してもらい特別感を演出

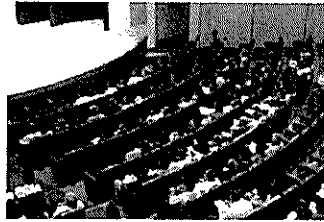
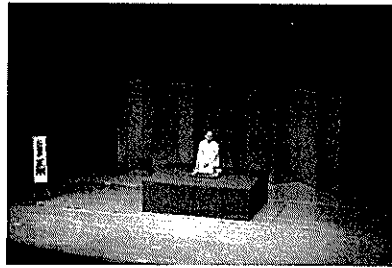
2

指定管理者活動トピックス
【1-3】賑わいの創出

落語ぶんがく亭の開催

「春風亭一之輔 独演会」
平成25年9月5日(木)

「三遊亭王楽 独演会」
平成25年12月4日(水)

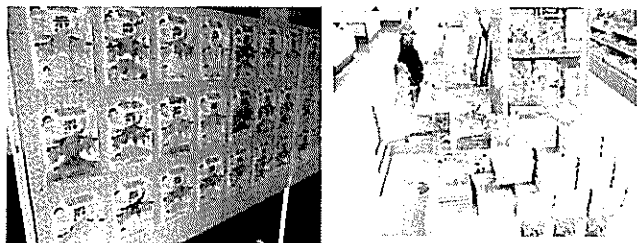


3

指定管理者活動トピックス
【1-4】賑わいの創出

地域との協働（書店商業組合との連携）

特設展「かいけつソロリ展」を記念した「ぬり絵大会」を開催。学芸課の協力のもと原作者の原ゆたか先生に、ぬり絵を作成してもらったほか、組合加盟の書店に特設コーナーの設置や、ぬり絵の配布・回収など協力を依頼



ぬり絵大会参加者の作品は、文学館ロビーにて展示。参加した子どもが家族で来館されることも多く、展覧会の賑わいにも繋がった。
参加者481名

秋の企画展「与謝野晶子展」を記念した「短歌大会」を開催。選者に三枝館長を迎え、展覧会の賑わい創出を図った。また、学生の部を新設し、学校単位での応募に繋げ、学生に文学館をアピールした



●応募総数 373首
(目標数200首)
一般の部 257首
学生の部 116首



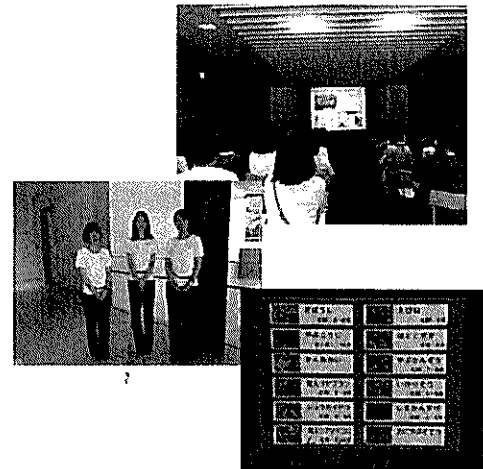
4

指定管理者活動トピックス

【2-1】サービス向上 ～監視のプロ集団になる～

9月9日(月)スタッフ全体研修

スタッフ全体研修として、箱根にある「ポーラ美術館」「彫刻の森美術館」を視察。自施設に類似する他施設を視察することで、お客様目線で客観的に自らを振り返る機会とした他、1日を通して団体行動をすることで、対話する機会を増やし、チームワークの醸成を図った。地元企業である山梨交通の協力のもと貸切バスを手配、また美術館学芸課の口添えによりポーラ美術館では学芸員の解説付きで観覧。研修後に提出してもらったアンケートには、一人ひとりに様々な気づきがあったことが伺われる等、有意義な研修となった。



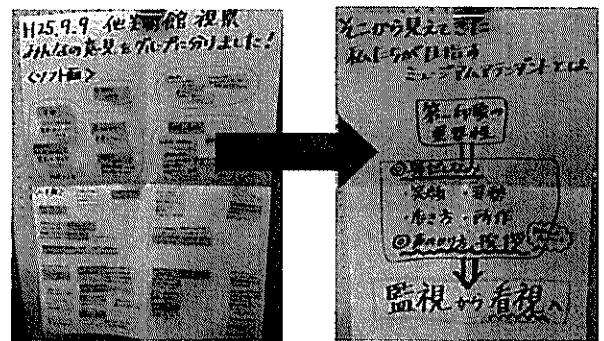
5

指定管理者活動トピックス

【2-2】サービス向上 ～監視のプロ集団になる～

スタッフ活動 ～身だしなみ～

2013年9月9日、他施設の視察に行った際に、スタッフ達から様々な意見・提案が挙がりました。それを<ソフト面><ハード面>にグルーピングしたところ、私達が目指すミュージアム・アテンダントの姿が見えてきました。



第一印象の重要性

身だしなみ+声の掛け方、挨拶

監視から看視へ

‘身だしなみ’ 活動内容

スタッフを5チームに分け、『笑顔・姿勢・歩き方・所作』の4テーマについて、朝礼で「美」ポイントを確認し、勤務中は意識して考動する。その際、互いに良いところは褒め合い、アドバイスし合う。また、終礼時に振り返りの時間を設ける。

※それぞれのチームで強化する、活動テーマを1週間ごとに変更。

※誰がどのチームかわかるように、名札にチームカラーのシールを貼付。

強化週間	①11/5～11/10	②11/11～11/17	③11/18～11/24	④11/25～12/1
イチゴ	所作	歩き方	姿勢	笑顔
レモン	歩き方	姿勢	笑顔	所作
メロン	姿勢	笑顔	所作	歩き方
ブルーハワイ	笑顔	所作	歩き方	姿勢
グレープ	笑顔	所作	歩き方	姿勢

2つの笑顔を使い分けよう
(良い表情の条件は 目元・口元・心)
スタンプスマイル
口角を上げ目を明るくし、笑顔が伝わるように心がけること。
スーパースマイル
「笑顔がよいよ!」「お褒めいただきありがとうございます。」
が伝わるような歩き方・姿勢を心がけること。
鏡を持ち歩き自分の表情を確認しよう!

強化週間一覧表

「美」ポイント&名札



‘挨拶’ 活動内容

お客様やスタッフとすれ違う時は、相手が気持ち良いと感じる挨拶を必ずする。

※常勤スタッフが中心となって実施。

MAスタッフだけでなく、SPSやまなし全体で取り組むことを意識しました。

6

指定管理者活動トピックス 【3】施設の維持管理

光熱費節減対策

●節電への継続した取り組み

事務室の空調管理の徹底・蛍光灯の間引き・池の水入れ中止
⇒電気料金単価、燃料調整費の上昇による影響を最小限に抑制

電気使用量・料金 年度比較

単位:kw、千円(税抜)

	電力使用量	電力料金
平成21年度	4,003,056	52,535
平成22年度	3,961,488	53,445
平成23年度	3,461,400	51,677
平成24年度	3,546,048	57,578
2013年実績	3,497,040	66,113

※震災時

7

指定管理者活動トピックス 【4】平成26年度活動方針

県民に「愛される」・「足を運びたくなる」施設づくり

賑わいの創出

- ・施設の賑わい創出
⇒山梨県、周辺地域の賑わいへ
- ・施設一体となった「全員広報」の継続
- ・「顔の見える」「足で稼ぐ」活動の推進

サービス向上

- ・施設全体の「ホスピタリティデザイン」の推進
- ・「グループ」ではなく「チーム」として機能する
キーワードは「対話」「寄添い力」
- ・SPSが運営する美術館スタンダードの確立・運用

基盤整備

- ・新組織体制での安定稼動を実現する
キーワードは「ムリ・ムダ・ムラ」をなくす
- ・「安心・安全」な運営を継続

8

